



# 波濤

<https://hatoh.net/>

## 第66号

発行 放送大学神奈川同窓会

編集委員会

責任者 金田 保男

発行日 2023年12月19日

会員数 601名(2023年10月1日現在)

### 放送大学創立四十周年記念と今後の課題

神奈川同窓会会长 金田保男



2023年4月に放送大学は創立40年を迎えました。新型コロナ感染症(COVID-19)の感染状況が落ち着いていない状況により、記念式典は10月31日に延期され、一定の収束傾向となり式典を執り行うことになりました。次の10年100年に向け新しい出発です。

### 放送大学創立四十周年記念式典

記念式典および記念シンポジウムは、令和5年10月31日学術総合センター内一橋講堂で執り行われ、祝賀会は如水会館にて行われました。なお記念式典および記念シンポジウムはインターネットでの同時配信となりました。

式典の挨拶で岩永雅也放送大学学長から、「他の大学にはない多様なミッション(社会的使命)を掲げることとなりました。それは、①生涯学習機関として広く社会人等に大学教育機会を提供し、②新しい高等教育システムとして新規高卒者に対し柔軟な大学進学機会を保証し、③既存の大学との連携協力等により大学教育全体の改善を実現する、④職業・資格に関するリカレント教育の推進です。

40周年を節目に放送大学は今後、従来の対面指導も大事にしつつさらなるDX化を進め、全国そして世界に開かれた学びやすい高等教育機関となる努力を重ねてまいります」と挨拶がありました。

高橋道和放送大学学園理事長からは、一貫して「大学教育の機会に対する広範な国民の要請にこたえ、大学教育の為の放送の普及発達を図る精神で、学びたい人が、いつでも、どこでも学べる開かれた大学」の実現に努めてきた経緯を話されました。

令和五年度(2024年3月)「学位記授与式」および「卒業・修了祝賀パーティ」予定について

2024年3月の「学位記授与式」会場は、高田馬場駅から徒歩5分程の「ベルサール高田馬場」というイベントホールで開催予定です。例年NHKホール開催の場合が多いのですが、今年度は会場が変わります。また「卒業・修了祝賀パーティ」は、新宿駅より徒歩10分程の「京王プラザホテル」5階「コンコード ボールルーム」を予定しています。

新型コロナウイルスの影響で祝賀パーティは、2019年度より4年連続で中止となっていました。3月には5年分の思いを込めて実施できる状況であることを願っております。同窓会連合会の南関東地区(東京学友、東京足立、東京多摩、神奈川、埼玉、千葉)各実行委員は、東京開催のお膝元でもあり、同窓会連合会のうちでも主力メンバーとして「今年こそ!」の意気込みで準備を進めております。祝賀パーティが心に残る良き思い出となりますように、関係者の皆様にはご支援とご協力の程お願いいたします。

### 『波濤』印刷物発送作業の困難状況について

神奈川同窓会では、会員のコミュニケーションツールとして、①紙媒体(『波濤』印刷物)、②電子媒体(MailやZoom等)、③対面(顔をあわせて)、の方法で行っています。2020年の新型コロナ感染症(COVID-19)の感染拡大以降、対面で役員会等を行う事が激減し、その間役員の変更もままならず数年経過しているうちに、『波濤』印刷物発送作業の為登校出来る方は徐々に減少し、特定の方にその都度何日かの作業をお願いしておりました。今後更に減少傾向が考えられ、会報『波濤』の紙媒体郵送作業は見直しが必要になってきました。郵送の段階的縮小に向け方法等検討して参ります。

## 4年ぶりのフェスタ・ヨコハマ

長い歴史があり学生たち自身の手づくりという伝統のある、放送大学神奈川学習センター学園祭「第34回フェスタ・ヨコハマ」は2023年9月3日に開催しました。コロナ禍でやむなく開催を見送ってきた4年間でしたが早期の復活開催を望んでおりました、一日の短縮での開催となりましたが学生・同窓生の交流が実施でき嬉しいことです。今年のフェスタ・ヨコハマの開催の中心企画は大谷神奈川学習センター長の記念講演会と弘明寺音楽祭です。

記念講演会の演題は「石油化学プラントにおけるリスクマネジメント」で石油化学プラントにおけるリスクマネジメントの位置づけなどについて熱のこもった講演をしていただきました。改めてリスク管理の重要性について再認識する講演であったと考えます。

続いて、初めてのイベント企画でありました弘明寺音楽祭を実施しました。学生が参加する7団体が参加し6プログラムでいろいろなジャンルの音楽に日頃の練習の成果を発揮した演奏者と会場の観客が一体となり盛り上がった音楽祭が開催できましたと思っています。

今回開催のもう一つの特徴として、記念講演会と弘明寺音楽祭をオンライン配信し会場に来ることのできない参加者も楽しむことができたことはないでしょうか、コロナ禍からポストコロナ時代にスタンダードとなったハイブリッドのイベント開催の成果であると思います。

同窓会が連合会助成金事業で配備したICT機材を活用し、技術的支援を同窓会の多くの皆さんにご協力をいただきました。改めて御礼を申し上げたいと思います。  
(木下義則)



## 2023年9月学位記授与式

2023年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行後としては初めてとなる「令和5年度第1学期学位記授与式」が、9月24日に学習センター第8講義室にて執り行われました。これまででは、感染者数の推移を見ながら ONLINE で行なったことや対面で行う場合は密を避けるため午前午後の2回に分け行ったことがあります。今回は久しぶりに対面にて1回で行われました。

神奈川学習センターの今回の卒業生は128名、修了生1名で、式典出席者は36名でした。全国では卒業生2256名修了生6名と発表されています。今回も全員マスクを着用して行いましたが、近いうちにマスクなしでも開催出来るよう期待しています。卒業および修了生の皆様は、コロナ感染に罹らず目標を達成した方で、おそらく一生の思い出となるものと思われます。皆様清々しい顔で「卒業証書および学位記」を受け取っておられました。

神奈川学習センター大谷所長の挨拶の中に高等学校と大学の違いについて、高等学校までは教えていただく一方ですが大学は自分で授業を選択し自分の時間割を作ることから始まり、何を目標にするのか自覚する必要について話されました。また「アルベルト・AINシュタイン」の言葉として“ 疑問を持ち続けること ”“ 好奇心を失ってはならない ” 等今後とも生きて行く上での考え方を示されました。

神奈川同窓会会長としての私の祝辞の中では、卒業式は必ずしも毎年常に出来ることは限らず、2011年の「東日本大震災」や2020年「新型コロナ感染症」拡大時の時などに同窓会や学生の対応について申し上げました。また嬉しいことに式典後「神奈川同窓会入会者」が1名新しいメンバーとして加わっていただきました。  
(金田保男)



## 連合会南関東地区交流会報告

### 放送大学同窓会連合会「地区交流会」の意義

各地区同窓会の共通テーマと、各同窓会の課題などについて議論し、大学本部の動向や連合会や他地区の活動状況を報告し、意見交換や要望事項等を討議します。

放送大学には、全国に50センターおよび51同窓会がありますが、うち同窓会は次の7地区に区分し活動しています。原則は対面ですが、感染症状況によりZoomにて行うこともあります。

全国の地区名称			
1 北海道・東北	5 近畿		
2 北関東	6 中国・四国		
3 南関東	7 九州・沖縄		
4 東海・北陸			

### 南関東地区の構成

南関東地区（埼玉、東京足立学友、東京多摩、東京学友、千葉、神奈川の各同窓会）は、「全国学位記授与式」および「卒業・修了祝賀パーティ」会場となる東京圏の同窓会で構成されています。特に祝賀パーティを行うには、多数の「実行委員」による作業を必要としますので、東京圏の同窓会が互いに協力し合う必要があります。

### 2023年度南関東地区交流会開催

- ・日 時：11月11日（土）13:00～16:30
- ・場 所：「私学会館（アルカディア市ヶ谷）」
- ・参加者：15名（神奈川から3名参加）
- ・交流会：「同窓会情報交換会報告シート」にて報告します。同窓会毎の悩み等の共通事項と、特にトピックは特殊な事情による内容など注目されます。これまで時間の関係で報告主体でしたが、今回は意見交換もでき有意義な交流会となりました。また交流会後の「懇親会」では互いに打ち解けるので、共同作業時は連携がとり易くなります。  
（金田保男）



### 卒業生の言葉

#### 「続ける」ということ

市岡小枝子



2023年3月25日の学位記授与式は大雨の中、久々のNHKホールで挙行されました。私にとって3度目の卒業でした。

1度目は「心理と教育コース」でした。心理を選んだ理由は長く福祉系の職場にいましたがそこで生まれた疑問への解答を見つけたいと思ったことでした。定年後とは言え、自分の今までの業務を心理学的視点で見直しながら自己肯定観が持てれば、との想いからでした。周囲は「定年で終わったのに？」と言う反応がほとんどでしたが私の中ではある意味、自分を取り戻す過程でもありました。このコースを終えて、自らの学びや経験を振り返ることはできたように思います。

2度目は大学院の「生活健康科学プログラム」です。大学は卒業しましたが、論文を書いた経験がなかったので、人生最後の論文を書いてみたいと思いました。拡大ゼミでの発表と資料作成、論文作成のイロハ等どれを取っても初めてづくしでとても大変ではありましたが、教授、大学院教育支援者、ゼミ生との出会いを通して論文を仕上げることができました。

3度目に大学に戻り、「人間と文化コース」に入りました。友達の影響から韓国について学んでみようと思ったのです。しかし、これはコロナ禍ということもあり試験でパスしても今一つ完了しない思いが残り、韓国語や歴史、文化等、もう少し学びたいと思ったのですが残念ながら放送大学ではその方法は見つけられませんでした。これで放送大学とも終わりとの思いで、雨の中の学位記授与式に参加したのでした。そして、卒業後に韓国語サークルがあったことを思い出し、神奈川学習センターで連絡方法を教えていただき入ることができました。

また、新しい方々と知り合うことができましたが、やはり人はいつも人によって刺激を受け生かされているように思います。年齢とともに、体力も記憶も落ちてきていますが今後も放送大学を通して生涯学習を続けたいと思っています。

## 卒業生の言葉

## さあ一 次へ！

猪狩滋子



10年前の3月に定年後の第二の仕事も満期を迎えるにあたり、この先どうしようかと考えていた頃、偶然見かけた放送大学のパンフレットに触発されてバタバタと入学手続きをしました。全く畠違いの分野を覗いてみようと、「社会と産業コース」に入学しました。

経済学入門・社会学入門等々、極め付きは「初級簿記」と、チップンカンプンでしたが放送授業やテキストを読み返す中で「へえ～そうなの！」と、知らなかつた事を知る悦びを感じることが出来るようになりました。また、単位認定試験に臨む緊張感は、学生時代に戻ったようでドキドキ・ワクワクでした。そして面接授業であちこちの学習センターに行き、色々な方と出会うことができたのも嬉しかったです。面接授業は広範囲に及び、選ぶのも楽しみの一つでした。

特別な思い入れもなく始めた放送大学ですが、今思い起こせば高三の時に大学受験勉強から逃げてしまったのでは、という後悔の思いがどこかにあったのかとも思います。

2019年9月に無事に卒業の後は「生活と福祉コース」を、2021年9月に「人間と文化コース」をとり、この9月に卒業して10年に渡る学生生活を終えることにしました。

授業の中で先生方に伺った「得た知識を還元して下さい」という言葉が心に残っています。これからも年だからと言わずに何か私にも出来る事があればと、積極的に社会と繋がっていこうと思います。

人生百年という時代を迎え、「健康」と様々な方面への「好奇心」がこれから的人生を豊かにしていくのではないかと思います。同窓会のイベント等に参加し色々な刺激を受けて「へえー、そうだったんだ！」と面白がりながらこう思っています。

最後に、試験前の追い込みに家事がおろそかになってしまっても見守ってくれ、また、分らないな～いという愚痴を聞いてくれた家人に感謝です。

## 社会貢献活動（プラン）

バングラデシュの Sahara (7歳女子) に関して、ファーストネームは、Mst であるとの連絡がありました。これまでバングラデシュでは出生登録の重要性が広く認識されていなかったため、家族からの聞き取りやニックネームの利用などプランの登録情報にばらつきがありました。近年、公的な出生登録が普及したため、プラン現地事務所が改めて名前の調査を実施しました。

正しく子どもの出生登録が行われないと、保健や教育、社会保障そのほか公的サービスを受けることができなくなり将来にわたって不利益を被ることとなります。

持続可能な開発目標 (SDGs) では、ターゲット16.9に「2030年までに、すべての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する」とあり、特にサハラ以南のアフリカ諸国では子どもの出生登録率が低く喫緊の課題となっています。

(田代和嘉)

## 社会貢献活動（あしなが育英会）

神奈川同窓会では大学叢書（既刊61冊）を神奈川学習センターの主要な催事に対面販売を行い、左右社からの売り上げ手数料を全額あしなが育英会に寄付しています。

コロナ禍により出来なかったフェスタ・ヨコハマ（学園祭）が9月3日、4年ぶりに開催され、また同月24日に学位記授与式が挙行されました。それに合わせ両日とも叢書販売を行うことができました。

(村田カズ子)



## 第11回ミニサロン紙上発表

## 自分史を書く動機と意義について

澤村雅嗣



自分史を書く動機は、二つの想いを抱くようになったからです。人は亡くなるとその人の一生の記憶は一瞬にして喪失してしまいます。「去る者は日々に疎し」という格言がある通り、人は亡くなると歳月と共に世間から忘れ去られて行きます。私にとって一番身近な存在であった父母の記憶も今では私の記憶の中で薄れています。ましてや父母の生き立ちがどうだったのか、今では知る由もありません。生前にもっといろいろなことを聞いておけばよかったですと後悔しています。そんな想いから、自分が生きた時代と自分の足跡、生きた証を書き残しておこうと思うようになりました。

人生というものはやり直しがききません。しかし、「過去は未来への踏み台である」という名言がある如く、過去を振り返ることにより、残された人生をよりよく生きる糧にすることはできるのではないか、それが二つ目の想いです。

そんな想いを抱くようになったことが自分史を書く動機となりました。しかし、日常の雑務に追われ、なかなか書き出せずになりました。

コロナ禍となり、終日巣籠り状態となって、身の処し方に戸惑う日々となりました。コロナ禍の中でのレジリエントな生き方とはどうあるべきなのか思案しました。そしてこれまで書こう書こうと思いつつ果たせずにいた自分史をこの機会に書くことにしました。三年前の三月頃の事です。

自分史を書くにあたって二冊の著書を参考にしました。一冊は立花隆『自分史の書き方』です。立花さんは自分史を書く意義について次のように述べています。「人生の第二ステージのデザインになにより必要なのは、自分の人生の第一ステージをしっかりと見つめ直すことである。そのためには、自分史を書くことだ」。

もう一冊は藤田敬治編集『脳を活性化する自分

史年表』です。藤田さんは自分史を書く意義について次のように述べています。「自分史を書くという作業は、昔の事を思い出す、忘れていた過去の記憶をよみがえらせる、曖昧なことを調べて正確な知識にする、自分という人間について考える、そしてそれを表現する、どれをとっても脳を刺激し、活性化する作業である」。

私は自分史を時系列的に書くことにしました。毎日机に向って書き始めたのですが、記憶力が低下しており、過去の事が想い出せず、筆が前に進みません。それで記憶を解凍するために、手持ちの写真を時系列的に整理し、写真を見ながら往時の事を思い出すようにしました。それから折節に書いた文章が残っていたのでそれを活用しました。これらの資料を基にし、記憶をよみがえらせながら、一年余りの時間をかけて何とかまとめることが出来ました。

本の題名は『更に上る一層の楼』とし、副題は「自分史—昭和、平成、令和を生きて」としました。題名の『更に上る一層の楼』は唐の詩人、王之渙の漢詩からとりました。この詩句に生涯学習への想いを託しました。

表紙の写真は留学した大連の遼寧師範大学の正門で、後方の並木は、大連の市花「アカシアの並木」です。

私は退職後放送大学在籍のまま、中国に三年間語学留学しました。帰国に際し、中国の教師から「学海無涯」(学びの海ははてしなし)という言葉を贈られました。この言葉は唐の詩人韓愈の詩の一節です。「更上一層樓」と「学海無涯」この二つの言葉を座右の銘として、これからも生涯学習を継続して行きたいと思っております。



## 第12回ミニサロン紙上発表

## 「幸福のアラビア」イエメンへ

田代和嘉



イエメンはアラビア半島の南部にあり、古代ギリシャや古代ローマの時代には人々から羨望のまなざしで「幸福のアラビア」と呼ばれました。

2007年10月に、バックパッカーとしてイエメンに3週間滞在しました。「なぜイエメンへ?」とよく聞かれます。当時、バックパッカーなどの長期旅行者の間ではイエメンが密かなブームとなっていました。また、旅行者向けの雑誌でもイエメン特集が組まれました。アラブ地域、特に観光客の多いエジプトでは、客引きや物売りから「ワンダラー・ワンダラー」と声がかかることがしょっちゅうです。ところが、イエメンでは人々が観光客擦れしているので快適に旅行ができるとの評判を聞いていました。

私は2006年第1学期に放送大学に入学しました。その数年前からNHKでアラビア語講座が始まり独学で学んでいました。2006年2月に放送大学でアラビア語の授業が開始されるとの情報を得て、資料請求し願書を提出して全科履修生になりました。放送授業「初歩のアラビア語('06)」が私と放送大学を結び付けてくれたのです。

2023年現在、イエメンには5つの世界遺産があり、1つが自然遺産、4つが文化遺産です。近年の洪水被害や後述するイエメン内戦により、4つの文化遺産は全て危機遺産となっています。

首都サヌアの旧市街は、世界遺産のひとつです。面積約1.5平方キロメートルの中には、白い漆喰で飾られた日干し煉瓦造りの建物がたくさん建っています。まるで砂糖菓子のような建物で、数百年前にタイムスリップをしたかのような感覚になります。旧市街の中には数多くのモスクがあり、朝は64もあるミナレット(モスクの尖塔)から夜明けの礼拝を呼びかける大音量のアザーンで叩き起こされることとなります。

イエメン滞在中に嫌な思いをすることもなく、

旅行を楽しむことができました。夜の旧市街を歩いていたら、結婚式をやっていて招待していただいたこともあります。誌面に限りがあるので多くはお伝え出来ないのが残念です。

2011年の「アラブの春」をきっかけにイエメンは政情不安となり、2015年から現在に至るまで内戦が続いている。国連は「世界最悪の人道危機」として世界に支援を呼びかけており、



世界遺産 サヌア旧市街

国連高等難民弁務官事務所(UNHCR)によると人口の約7割の2,160万人が人道支援を必要としています。残念ながら国際社会の関心度は低く「忘れられた危機」とも言われています。「写真を撮って!」とせがんできた子ども達、サヌアずっと泊まっていたホテルのスタッフ、ホテルそばのローカルレストランのスタッフ、本当に多くのイエメンの人々と旅行中に出会いました。彼ら・彼女らは今どうしているのでしょうか。



旧市街の中には共同菜園がある

再びイエメンの地を訪れる能够ないように、一刻も早く内戦が終結することを願っています。

## 第13回ミニサロン紙上発表

## 洞爺丸海難事故の回顧について

金田保男



**要旨：**1954年（昭和29年）戦後の気象観測体制不十分の中で、台風15号により「洞爺丸」を含む5隻の青函連絡船と1,430名が海に消えた。世界最大の海難事故「タイタニック号」に次ぐ大惨事となった。

なお同日発生した北海道岩内町大火災は、「洞爺丸」転覆の大ニュースに埋もれ余り知られていない。当時、私は北海道ニセコ町に住んでいて小学校5年生であった。

## 洞爺丸、台風15号（台風マリー）に遭遇

1954年は日本への上陸台風が多く、5回上陸したという。9月26日夕方から津軽海峡を横断した台風15号は道南から北東に進み全道に大被害をもたらした。翌朝「青函連絡船洞爺丸沈没」と同時に岩内町大火災」のニュースを聞き驚く。私の家族は幸い災禍を免れることができた。社会人となり、仕事が輸出入関連業務で、桟橋を含む主に外国船舶との関わりが長く、台風の度に「洞爺丸事故」を思い出します。

## 青函連絡船被害状況内訳（単位：人）

	総トン数	乗客	内死者	乗組員他	内死者
洞爺丸	4,337	1,151	1,041	111+52	73+41
第十一青函丸	3,143			90	90
北見丸	2,928			76	70
十勝丸	2,932			76	59
日高丸	2,912			76	56
合計		1,151	1,041	481	389

\*乗客・乗員合計死者数1,430名中112名遺体未発見。  
Data:1957年4月国鉄本社確定数による。このデータは、裁判にも使用され、以降の公式発表はおおむねこのデータを使用する例が多い。なお洞爺丸乗客死者のうち、外国人は60名（米軍帰還兵56名を含む）。

## 洞爺丸事故発生状況

当日函館港で出港準備中の洞爺丸は台風接近により、停電も手伝い何度か出航を見合させて天候回復を待つ。午後5時13分頃雲間に青空が現れ、西の空が茜色に染まり「台風の眼」だと誰一人疑うものはいなかつた。この一瞬の晴れ間は「閉塞前線」によるものと言われているが、当時は閉塞

前線の概念が無かったとされている。午後6時39分岸壁を離れるが直後に強風に逢い函館湾内から港外に出られず。午後10時41分「SOS」発信、10時43分「洞爺丸」沈没。そして午後8時から11時43分の間に他の連絡船4隻も沈没した。救難船5隻出動するが操船すらできず引き返した。

## 洞爺丸海難審判

遺族達は遺体収容が遅々として進まないため、10月1日遺族会を結成、組織的な交渉を行うことになり、菊川君子代議士を会長に選出した。「遺族会」はその後海難審判対策、遺族補償の交渉、慰靈碑建立の母体となった。海難審判の争点として、国鉄の“不可抗力説”に対し、遺族側は事故直後、いまだ何らの調査も行われていないのに、事故発生は不可抗力だったとか万全の処置をとったとか言い、国鉄内部の責任回避に出るのは、国民は納得できない。

海難審判は1955年2月に開始、1959年2月裁決「本件遭難は洞爺丸船長の運行に関する職務上の過失に起因して発生したものであるが、本船の船体構造および青函連絡船の運航管理が適当でなかったこともその一因である」。この裁決は、1961年最高裁にて結審となった。

## 事故の社会的背景

## 事故原因各社意見

- ・読売新聞：積荷貨車固定用チェーン切れ横転
- ・日本船長協会：他の連絡船沈没から不可抗力
- ・旭川測候所長：通過後に暴風雨が不意に発達
- ・船員：「気象通報」不確実「定点観測船」増強要約すると、①国鉄の制度や体質 ②気象予報通報体制 ③連絡船構造上の問題 等が指摘された。

## 社会・自然環境から考える

社会背景に加え、私は風土にもよるところが大きいと考えている。特に日本人の勤勉さ（定時運行）が根本にある。勤勉な国民性は日本ばかりではないが、最近の海難事故においても外国人の場合船長や船員が真っ先にボートで避難する例を見る。良い事なのか悪い事なのか判断は分かれるが日本人船員の場合先ず考えられないことである。

2000年頃から、社会や自然環境等状況の変化する中で人が行動する時の安全概念として「レジリエンス」という概念が出来てきた。臨機応変に対応する力と言われるが、予測困難なものに対し予防が可能なのか？模索する努力が必要と考えています。

## 事務局だより

## 役員を募集します

神奈川同窓会では役員（准役員を含む）として一緒に活動していただける方を募集しています。同窓会はボランティア団体ですので、できる時にできる範囲でお手伝いいただければ結構です。

会員相互の親睦、本会のさらなる活性化、また放送大学の発展のために、お力を貸して顶きたくお願いいたします。役員になると新たな学びや経験ができます。ご協力いただける方は下記まで是非ご連絡をお願いいたします。

- ・神奈川同窓会事務局長：木下義則
- ・Tel: 045-491-9111
- ・E-mail: kyoshi@at.wakwak.com



## 会員投稿も募集しています

神奈川同窓会会報『波濤』は年2回発行しており、「会員投稿」として皆様からの原稿を募集しています。まだ以前のような対面での行事が少ないためお会いして直接お願いできませんが、会報『波濤』は会員の皆様の声を反映するものですので、是非ご寄稿いただきたいと願っています。

原稿内容は、放送大学との出会いや想い、近況報告、紀行文、地域活動、ボランティア活動、私の趣味・特技、私の好きな郷土料理などテーマはご自由です。800字程度にまとめていただければ結構です。また写真のみの投稿もお待ちしています。

ご連絡いただければ投稿資料をお送りしますのでよろしくお願いいたします。

連絡及び原稿送付先

- ・会報『波濤』編集委員長：佐藤 敬
- ・Tel: 080-1010-5585
- ・E-mail: sts.sato-10167@nifty.com

## 《新入会者ご紹介》

2023年7月27日発行の『波濤』65号掲載以降の新入会員は下記の通り7名の方々です。  
心より歓迎申し上げます。(敬称略)

上田健太郎	市岡小枝子	千田 充	猪狩 滋子
本山駿一郎	須藤 洋子	中川 愛子	

## 《お願い》

住居移転のあった方や、Mailアドレスを変更された方は、次のいずれかの方法でご連絡をお願いいたします。



① 放送大学神奈川同窓会のホームページから。

<https://hatoh.net> の「入会案内」の「申し込みフォーム」から「住所変更」または「メールアドレス変更」と連絡事項に追記し送信。

② メールの方は下記アドレスで。

E-Mail: kyoshi@at.wakwak.com 木下義則

③ ハガキの方は下記住所へ。

〒232-0061 横浜市南区大岡2丁目31-1

放送大学神奈川学習センター内

神奈川同窓会 木下義則

## 訃報

中山角二 様

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

本号の発行は次年の1月の予定でしたが、輸送形態の変更が予想されるため本年の12月に変更しました。それから神奈川学習センター施設の団体利用は5月から緩和され、役員会も講義室ができるようになり、9月3日(日)にはフェスタ・ヨコハマ(学園祭)が開催されました。そして10月27日(金)には2年ぶりに弘明寺サロン兼秋の行事として「横須賀散策」を実施しました。この内容は次号(第67号)に掲載いたします。

(佐藤 敬)